

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 212-01-03

事務事業名		新型コロナワクチン接種事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線5161	
担当部署名		新型コロナウイルスワクチン接種推進室		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	1	危機管理		項	1	保健衛生費
	施策の方向	2	危機事業等への対応強化		目	2	予防費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	厚生労働省大臣が指定する羽曳野市に住民基本台帳に登録されている市民					
	目的 (どうしたいか)	新型コロナウイルスワクチン接種によって、新型コロナウイルス感染症の予防及び蔓延を防止する。					
	手段 (事業内容)	国が示す接種順位に沿って市民に接種券を送付し、原則住民票所在地において接種を受けられることとし、羽曳野市内の医院にて個別接種、もしくは集団接種にて接種する。長期入院や長期入所している等のやむを得ない場合は、住民票所在地以外でワクチン接種を受けることができる。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 委託料 10,895千円 電話等架設料 1,034千円 システム利用料 880千円 庁内器具費 776千円 施設利用料 747千円 【特定財源】 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金15,145千円	
当初予算額	事業費	—	499,838	533,934		
決算額	事業費	—	15,145	—		
	特定財源等	—	15,145	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	新型コロナウイルスワクチン接種準備業務	単位	参加者数	
指標の説明	ワクチン接種を希望する市民が、スムーズに接種できるように体制を整える。2000人/日大規模な接種体制のシミュレーションを行う。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	—	—	300名	—
実績	—	—	401名	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	新型コロナウイルスワクチン接種体制構築	単位	%	
指標の説明	高齢者の集団接種における体制づくりを構築。集団接種体制の検討や、コールセンターの設置、予約システムの構築を実施。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	—	—	—	80
実績	—	—	(接種者数 約350名)	—

≪事業の参考数値等≫
 新型コロナウイルスワクチン接種に係る集団接種訓練
 ・実施日 令和3年2月27日
 ・実施会場 はびきのコロセラム
 ・接種訓練参加者401名

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
新型コロナウイルス感染症の予防・蔓延防止に向けて、ワクチン接種を希望とする市民に短期間で効率的にワクチンの接種を行う体制を構築するには、集団接種と個別接種を実施しなければならず、医師会などの各団体の協力が不可欠であるため、共通の目標を持ち進めなければならない。また、新たな感染症でありワクチンの流通が不透明な中、体制整備が困難。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
ワクチンの接種を希望される市民が接種出来るよう、接種の機会を確保すると共に、感染の蔓延を防止するため、ワクチン接種率向上に向けて市民へ広報や市ウェブサイトにての啓発や接種方法等の周知を図っていく。